

〔科目名〕 学習導入演習				〔単位数〕 2 単位		〔科目区分〕 アカデミック・コモン・ベーシックス	
〔担当者〕 大森 史博 Ohmori Fumihiro		〔オフィス・アワー〕 時間:授業の初回に提示する 場所:613 研究室				〔授業の方法〕 演習・講義	
〔科目の概要〕 学びにおける「問い」という技能を吟味することにより、大学であらたに学習を始めるにあたり、必要不可欠なアカデミック・スキルの習得を目指す。自分で「問い」を見つけ出し、探求をすすめることは楽しい。自分の経験と関心に応じて「問い」を定め、情報や資料を吟味し、考察を深め、議論を交わし、「答え」を求める。そのように、大学生活を楽しむための、学びの技(スキル)を身につけることが本演習のねらいである。 聞くこと、話すこと、読むこと、書くことは、相互に補い合い、増幅し合うことで、われわれが事象を理解したり、考えたりすることに役立っている。ノートテイキングやメモを活用すること、質問すること、資料を読んで要約すること、自分の気づきを文字にすること、といった学びの技を実践的に習得する。							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 この授業では、具体的に学びのスタイルを捉えなおし、メモやノートの方法、図書館の利用、ネットワークの活用、文献や資料の収集、整理の仕方、探求的対話と議論の実践、レポート作成の作法、引用や要約の仕方、等々を習得することを目指す。ことあらためて、勉強の仕方を問い返すことによって、これから始まる大学の授業や自分の学習は、ますます興味深いものとなるだろう。どのような仕方で、どのように勉強するのかという方法やスキルは、その人その人が徐々に身につけ、改良を加えてゆくものである。とはいえ、学生生活の中心が「学ぶこと」であるかぎり、どのような学問領域、研究対象に向き合おうとするにせよ、基礎的な学習のスキルを身につけ、自分の学びのスタイルを再構築することは、この春あらたにスタートを切るにあたり必要不可欠なトレーニングである。ともに考えることを楽しみながら授業をすすめたい。							
〔科目の到達目標〕 (1) 図書館、授業、メモ、ノート、電子機器、インターネット、等々の学習のツールを使いこなす (2) 大学での学習のスタイルに慣れ親しみ、問うこと、探求的に考える習慣を身につける (3) レポートや小論文を作成するための技法を身につける							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4 ○	DP1	DP2	DP3	
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 「実際にレポートの発表やメールを送ったり経験することで慣れることができた」、「文章を書く力を的確に身につけることができる」、といった点をよしとする声が寄せられた。 その一方で、「説明が長く作業時間が短かったので、作業時間をもっと取ってほしい」、という要望があった。授業中に必要な時間が足りないということであるから、あらためて組み立てを工夫し、自習できる課題を科すなど、本来的な作業にじっくり取り組んでもらえるよう検討する。読むこと、書くこと、聞くこと、語ることという、学びの力を身につける場として授業が機能するよう、さらなる改良をかさねていきたい。							
〔教科書〕 使用しない。適宜プリントを配布する。							
〔指定図書〕 なし							
〔参考書〕 『大人のための国語ゼミ』野矢茂樹、山川出版社、2017 年 『学術書を読む』鈴木哲也、京都大学学術出版会、2020 年 『高校生と考える希望のための教科書』桐光学園、左右社、2018 年 その他、授業内に紹介する。							

〔前提科目〕 なし	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 授業のなかでの活動や発言、提出物(50%)、レポート課題(50%)	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 大学に入学するまでの勉強と入学してからの勉強は、すこし違います。そこで、自分の学習のスタイルとこれからの大学での学生生活、そして将来の自分について、ちょっと立ちどまって考えてみましょう。これまで、ずっとあたりまえのようにしてきた勉強について、一緒に振り返ってみることから始めます。そこに、大学での「学び」のスタイルを再構築するための気づきや発見があるはずです。そして、沢山のあたらしい仲間と出会うように、沢山の良い本と出会うことを楽しんで下さい。あたらしい知識を身につけ、見聞を広げ、掘り下げて考えるのは楽しいことですし、達成感があります。それだけではありません。やがて近い将来に必ず、まだ分からないこと、答えが見つかっていないこと、あたりまえだと決め込んでいたこと、等々に向き合い、考え、調べ、探究するべき時が必ずやってきます。そうした、知的探検に乗り出すための、自分自身の「学び」のスタイルを作っていきます。	
〔実務経歴〕 該当なし	
授 業 スケ ジ ュ ー ル	
第 1 回	テーマ(何を学ぶか): イントロダクション 内 容: この授業の趣旨と内容、具体的な作業の予定、評価の方法、自己紹介カード 教科書・指定図書
第 2 回	テーマ(何を学ぶか): 大学と図書館 内 容: リベラルアーツ、蔵書の分類、ネット検索と文献資料 教科書・指定図書
第 3 回	テーマ(何を学ぶか): 読書と学生生活 内 容: 本を探す、本を選ぶ、本を読むということ 教科書・指定図書
第 4 回	テーマ(何を学ぶか): 作文のトレーニング 内 容: メモ、ノート、端末、下書き 教科書・指定図書
第 5 回	テーマ(何を学ぶか): 引用と要約① 内 容: 文章作成のための引用と要約の練習 教科書・指定図書
第 6 回	テーマ(何を学ぶか): 引用と要約② 内 容: 文章作成のための引用と要約の練習 教科書・指定図書

第 7 回	テーマ(何を学ぶか):図書館の活用 内 容:図書館見学 教科書・指定図書
第 8 回	テーマ(何を学ぶか):主題設定のためのグループワーク 内 容:研究テーマを考える 教科書・指定図書
第 9 回	テーマ(何を学ぶか):レポート課題のために 内 容:資料探索、引用、要約、注記、締切り 教科書・指定図書
第 10 回	テーマ(何を学ぶか):構想発表のために 内 容:構成と目次、先行研究と参考文献 教科書・指定図書
第 11 回	テーマ(何を学ぶか):構想発表 内 容:レポートの構想発表、質疑応答 教科書・指定図書
第 12 回	テーマ(何を学ぶか):レポート課題への対策① 内 容:問いが向かうところ 教科書・指定図書
第 13 回	テーマ(何を学ぶか):レポート課題への対策② 内 容:序論と結論、タイトルとサブタイトル 教科書・指定図書
第 14 回	テーマ(何を学ぶか):研究発表 内 容:推敲と再考 教科書・指定図書
第 15 回	テーマ(何を学ぶか):総括 内 容:授業の趣旨と要点をふり返る 教科書・指定図書
試 験	レポート課題の提出